

当院における糖尿病教育入院クリニカルパスの検討

渡辺亜紀子¹⁾、小松 桂¹⁾、本山 博恵¹⁾、岡本 敏哉²⁾、小野 百合²⁾

3階西ナーステーション¹⁾、内科糖尿病²⁾

【目 的】

当院糖尿病内科の教育入院で使用しているクリニカルパス(以後パスと略す)のバリエーション出現数とその対象群を明らかにし、パスの有効性の検証と改善点を検討する。

【対象と方法】

対象は平成13年3～5月の糖尿病教育入院患者40名(1型6名、2型34名。平均年齢54才。男性25名、女性15名。罹病期間 5.3 ± 5.3 年。初回入院20名、入院歴2回以上14名、他院からの紹介6名。インスリン治療14名、内服治療26名。合併症を有する患者21名)。パスより最終的にバリエーションが残った達成目標項目とその数を集計し、患者背景とバリエーションの関係を検討した。

【結 果】

- ①患者40名のうちバリエーションが出現せずパス単独で教育入院を終了した患者は8名(患者全体の20%)だった。パスと個別看護計画の併用によりバリエーションが消失した患者は23名(57.5%)。うち16名(40%)の患者は看護計画立案後の評価がされていたが、7名(17.5%)は評価されていなかった。バリエーションを残して退院した患者は9名(22.5%)だった(図1)。
- ②バリエーションは糖尿病合併症を有する患者($p < 0.01$) (図2)、罹病期間の長い患者($p < 0.05$) (図3)、インスリン療法患者($p < 0.05$) (図4)、紹介入院患者($p < 0.005$) (図5)に有意に多く出現した。
- ③目標達成度は患者の知識・技術習得に関する達成目標が81.8%、患者の受容と社会支援に関する達成目標が78.8%と高いのに対し、患者の自己管理確立に関する達成目標が42.5%と低かった(図6)。

図1 個別看護計画立案率とバリエーションの出現率

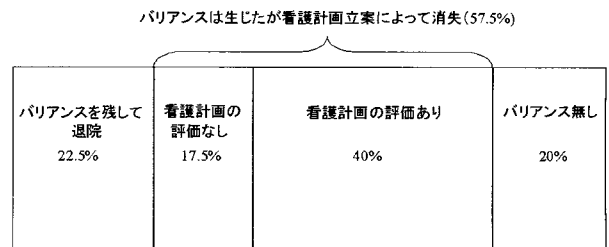


図2 合併症の数別にみたバリエーションの出現率

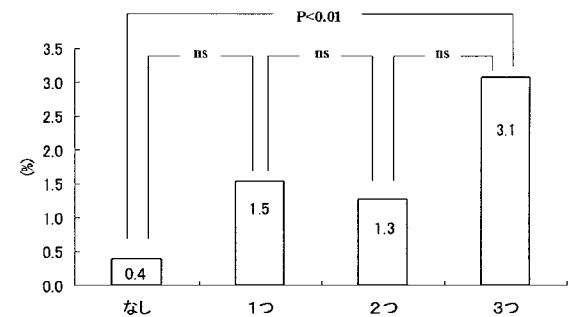


図3 罹病期間別にみたバリエーションの出現率

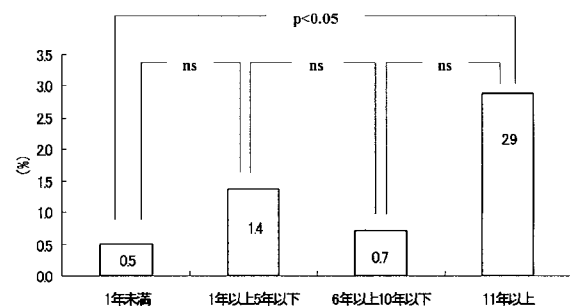


図4 インスリン療法の有無とバリエアンスの出現率

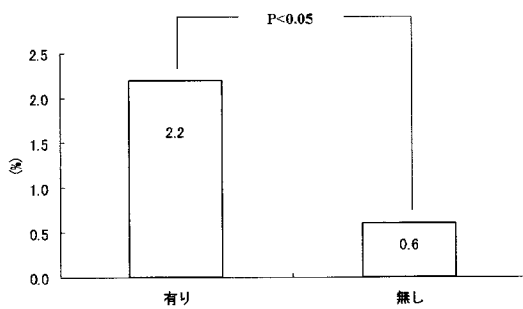


図5 入院歴別にみたバリエアンスの出現率

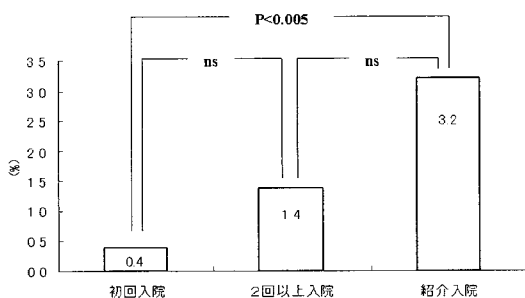
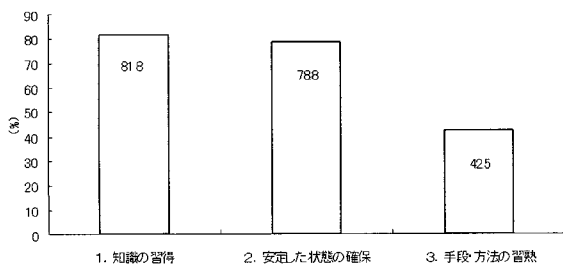


図6 クリニカルパスの目標達成度



【考 察】

バリエアンス出現のハイリスク患者が明確となった。パス単独で教育入院を終了した患者は全体の20%と少なかったが、個別看護計画を立案しパスと併用することでバリエアンスが消失した例が多く、パスと看護計画の併用が有効であることがわかった。バリエアンス出現のハイリスク患者は個別看護計画の早期立案によりバリエアンスを回避できると思われる。又看護計画を併用することでより患者の個別性に対応できると考えた。達成目標の達成度が低い項目は主に退院後の自己管理に繋がる実践方法の獲得に関する目標の為、入院中の達成が難しいのではと考えた。又ある項目に関してはスタッフの未記入により達成度が低く、パス自体が記入しづらい形式、評価基準ではなかったかと思われた。更に看護計画立案後評価に至らなかった例もあったことから、パスの内容、評価基準の見直しだけでなくスタッフの更なる意識づけが必要と考えた。

【結 語】

- ①バリエアンス出現のハイリスク患者が明らかとなった。
- ②バリエアンス回避のためパスと個別看護計画の併用が有効であり、早期より立案すべきと考えられる。
- ③達成目標、評価基準等のパスの改善が必要である。

参 考 文 献

森山美智子：ナースングケースマネジメントとクリティカル・パス 臨床看護 26(8), 2000.

The Evaluation of Clinical Path of Educational Course of Diabetes

Akiko WATANABE, Katsura KOMATSU, Hiroe MOTOYAMA

3rd-floor, West Nurse Station Sapporo Social Insurance General Hospital

Toshiya OKAMOTO, Yuri ONO

Department of Internal Medicine

We investigated the risk factor of variance in the clinical path of our educational course of diabetes.

Of 40 patients, 8 patients didn't have any variance, however, other 32 patients had variances during the educational course. For 32 patients who had variances, we used the nursing care plan which effective for 23 patients.

The risk factors of variance were diabetic complication ($p<0.01$), long duration of diabetes ($p<0.05$), insulin treatment ($p<0.05$), and referred patients ($p<0.005$).

Our study made it clear the character of high-risk patients for variances in the clinical path of diabetic educational course, and effectiveness of our nursing plans.